

《セッション構成案》

■教育セッション 1 (120分)

Imaging guide PCI を再考する

論点；本邦では Imaging guide PCI がほぼ全例で実施されている。また、imaging guide PCI の有効性が示されている。しかし、definite な定義はない。そこで、optimal DES deployment について再考する？

座長：日大板橋病院 高山忠輝先生、
NTT 関東病院 山崎正雄先生

1. 基調講演：過去に報告された様々なオプティマルステント留置の定義を総括ください。
昭和大学 新家俊郎先生 (講演 30分・質疑無し)
2. 演者 1～3の内容は東京労災病院 高亀則博先生 (発表 30分・質疑 10～15分)
4～6の内容は 熊本大学 辻田賢一先生 (発表 30分・質疑 10～15分)
 1. Ref をどこにすべきか？
 2. Plaque protrusion は意義があるのか
 3. Edge の解離は修復すべきか？
 4. Stent は正円に拡張されるべきか？
 5. Mal-apposition の限界は？
 6. DES 時代においてどこまで拡張すべきか？

コメンテーター中心で議論してもらう

1. 福岡輝栄会病院 大塚頼隆 先生
2. 行田総合病院 興野寛幸 先生